
平成 30 年度 日臨技近畿支部研修会
「チーム医療実践セミナー2018 京都」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 近畿支部
実務担当技師会：京都臨床検査技師会

【メインテーマ】求められる臨床検査技師をめざして チーム医療の実践！

【日 時】平成 31 年 1 月 20 日（日）10：30～16：30 （受付 10：00～）

【場 所】京都保健衛生専門学校 京都市上京区千本通竹屋町東入主悦町 910

学校の駐車場は利用できません。最寄りのパーキング利用か公共交通機関をご利用下さい。

【定 員】100 名（ICT 部門 40 名、NST・褥瘡対策部門 30 名、糖尿病療養指導部門 30 名）

【受講料】2,000 円（日臨技会員）

3,000 円（非会員；看護師、薬剤師、栄養士の方も参加可能です）

【日 程】詳しい内容は、プログラムをご覧ください。

10：00～ 受 付

10：30～10：40 オリエンテーション

10：40～12：10 ≪合同研修≫コーチングとマネジメント

昼休憩 部門により昼休憩の時間が異なります。ランチョンはありません。

各自、会場にてお召し上がり下さい。

午後 ≪各部門 専門実践セミナー≫

① ICT 部門(定員 40 名)

テーマ：“AST の一員としての臨床検査技師～何をすべきなのかを考える～”

② NST・褥瘡対策部門(定員 30 名)

テーマ：“NST と褥瘡対策に参画できる技師を目指せ！”

③ 糖尿病療養指導部門(定員 30 名)

テーマ：“知っておきたい CSII・CGM～基礎から治療・指導まで～”

【参加申し込み期間】 平成 30 年 10 月 9 日（火）～平成 31 年 1 月 8 日（火）

研修会事務局

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口 58 番地

京都岡本記念病院 臨床検査科 青山 絹子

Tel：0774-48-5520（直通） E-mail：kinutatu@nifty.com

【申し込み方法】

① 日臨技会員；日臨技 HP よりお申込み下さい。

② 非会員；看護師、薬剤師、栄養士の方も参加可能です。E-mail でお申し込みください。

E-mail での申し込み方法

1)漢字氏名(ふりがな) 2)施設名 3)所属部署 4) 職種 5)電話番号 6) 連絡 mail アドレスを列記し、E-mail：kinutatu@nifty.com へ送信してください。受付確認返信メールがない場合は、事務局までお問い合わせ下さい。

【近畿チーム医療実践セミナー2018京都】プログラム			
日時：平成31年1月20日（日）10：30～16：30（10：00～受付）			
会場：京都保健衛生専門学校 5階講堂 他			
メインテーマ：求められる臨床検査技師をめざして チーム医療の実践！			
10：00～	受付		
10：30～10：40	オリエンテーション		
10：40～12：10	≪合同研修≫ コーチングとマネジメント リーダーシップの一局面としてのコーチングについて 講師：山田 敏彦 先生（アイアイシステムズ） 日臨技の生涯教育履修のツールであるeラーニングを手がけるアイアイシステムズに研修をお願いしました。eラーニングシステム"バリューレゾリューション"の紹介と患者指導や多くのスタッフとチーム医療を行う上で不可欠であるコーチングスキルを学びます。		
	昼休憩（12：10～13：10）	昼休憩（12：10～13：10）	パート1 （12：10～12：30） ・ハンズオン CGM装着体験 ・村田 敬 先生（独立行政法人国立病院機構京都医療センター 糖尿病センター）
午後～	各部門専門実践セミナー		昼休憩（12：30～13：30）
各部門テーマ	ICT部門	NST・褥瘡対策部門	糖尿病療養指導部門
	"ASTの一員としての臨床検査技師～何をすべきなのかを考える～"	"NSTと褥瘡対策に参画できる技師を目指せ！"	"知っておきたいCSII・CGM～基礎から治療・指導まで～"
ねらい	2018年4月から、抗菌薬適正使用支援加算が開始されました。臨床検査技師も、AST（Antimicrobial Stewardship Team）の構成員となることが加算要件となっています。今回のICT部門研修会では、臨床検査技師がASTの一員として何を求められているのか、また、何をすればよいのかを学んで頂く場にしたいと考えています。実際にアンチバイオグラムの作成も体験して頂く企画としました。Case studyでは作成したアンチバイオグラムを使用し、ラウンドシミュレーションを行います。実際のラウンドで、活かせるような研修を目指します。	栄養管理や褥瘡対策において臨床検査データは不可欠であり、臨床検査技師がその専門知識を生かしそれぞれのチームへの参画が期待されています。そこで、病態別栄養管理と臨床検査データの見方を理解すると共に、看護師と栄養士の立場から臨床検査技師に望むことを交えそれぞれのチームの活動をお話します。あと一歩前進してチームの一員として発言したい、活躍したいと思っているあなた、是非ご参加ください。	最近、血糖変動をモニターするデバイスとして、CGM（Continuous Glucose Monitoring：持続血糖モニタリング）が使用され始めています。CGMを用いることで、これまでのSMBGでは捉えきれなかった食後や明け方の血糖変動がより詳細に把握することが可能になりました。今回は、この新しいデバイスを糖尿病指導にどう活かせば良いのかを考える機会にしたいと考えています。パート1ではデバイスの基礎知識を、パート2で実際のデータからどんな情報が引き出せるのか？また指導にどう活かすのか？、パート3のハンズオンでは実際にCGMを体験し、患者目線で指導が行える講習会を企画しました。
プログラム	パート1 （13：10～13：55） ・医師が望むASTの一員としての臨床検査技師の役割 ・児玉 真衣 先生（京都府立医科大学附属病院 感染症科） パート2 （13：55～14：25） ・アンチバイオグラムの作成と活用 ・阿部 教行 先生（天理よろづ相談所病院 臨床検査科） 休憩 （14：25～14：35） パート3 （14：35～15：30） ・実際に作ってみよう！アンチバイオグラム ・京臨技微生物研究班班員 パート4 （15：30～16：30） ・case study 1 ASTラウンドシミュレーション ・京臨技微生物研究班班員	パート1 （13：10～13：50） ・病態別栄養管理 ・岡田 春太郎 先生（京都民医連中央病院 消化器外科） パート2 （13：50～14：30） ・NSTと臨床検査～検査値をどう診るか～ ・松木 友里 先生（ニッポー・メディカル株式会社 学術部 東京学術グループ） 休憩 （14：30～14：45） ※栄養剤の試食を予定しています。 パート3 （14：45～15：25） ・チーム医療で取り組む褥瘡対策 ・渡邊 朋子 先生（京都岡本記念病院 皮膚・排泄ケア認定看護師） パート4 （15：25～16：05） ・NSTと栄養管理 ・櫛田 麻結子 先生（京都民医連中央病院 管理栄養士）	パート2 （13：30～14：00） ・糖尿病デバイス（インスリンポンプ・CGM）の原理 ・田井 さやか 先生（日本メドトロニック株式会社 学術部） パート3 （14：00～15：00） ・CGMの解釈とインスリン療法の最適化 ・村田 敬 先生（独立行政法人国立病院機構京都医療センター 糖尿病センター） 休憩 （15：00～15：10） パート4 （15：10～16：30） ・ハンズオン インスリンポンプ・CGMの実際 ・村田 敬 先生（独立行政法人国立病院機構京都医療センター 糖尿病センター） ※先着15名に限りCGM装着が可能です。希望の方は、申し込み時に'CGM希望'と記載してください。但し、当日に装着における同意書を頂きます。※日本糖尿病療養指導士、京都糖尿病療養指導士 認定更新のための講習会に申請予定です。